

令和7年度 防災部会 事業活動報告

防災部会 開催日 (毎月第4金曜日)

実施月	開催日	備考
4月	2025年4月25日	
5月	2025年5月23日	総合防災訓練会場(東桜小学校見学 6月3日)
6月	2025年6月27日	
7月	2025年7月25日	
8月	2025年8月29日	
9月	2025年9月26日	総合防災訓練への参加月
10月	2025年10月24日	
11月	2025年11月28日	
12月	2025年12月26日	
1月	2026年1月23日	
2月	2026年2月27日	研修会の実施月
3月	2026年3月27日	安否確認訓練の実施月

主な活動

安否確認訓練の実施

- ・令和8年3月11日(水) 区内29事業所参加

研修会の実施

- ・地震対策研修会 令和8年2月12日(木) (会場 東区役所4階 講堂)

総合防災訓練への参加 令和7年9月7日(日)

- ・総合防災訓練の会場になる学校の見学 (東桜小学校)
- ・福祉避難スペース設営訓練の実施 (東桜小学校内に設営)
- ・福祉避難所開設訓練の実施 (会場 山吹ワーキングセンター)
- ・当事者の参加 (避難所開設訓練に身体障害者2名参加)

啓発活動

- ・災害時ヘルプカード・パンフレットの継続配布

令和7年度 相談支援部会 事業報告

① 活動内容

時期	内容
4月9日	令和7年度相談支援部会年間計画
6月25日	就労選択支援勉強会
8月20日	訪問看護事業所を招いての交流会
11月25日	就労事業所連絡会との交流会
1月23日	主任介護支援専門員との合同研修会
2月18日	令和7年度相談支援部会振り返り 令和8年度相談支援部会年間計画作成

② 振り返り

○訪問看護事業所を招いての交流会

・特色のある訪問看護事業所を招いて、看護師と相談員との交流会を開催。訪問看護師の役割や利用するまでの流れの確認をすることが出来た。

○就労事業所連絡会との交流会

・就労系事業所の職員さんと相談員との交流会を開催。就労系の事業所利用に繋がるまでの流れや、就労系の事業所を利用してからの相談員との連携について話をする事で、就労系の事業所と相談員双方が求めていることを把握することが出来た。

○主任介護支援専門員との交流会

・障害福祉と介護保険の双方を利用している世帯のケースから、重層的支援体制整備事業や引きこもり地域生活支援センターと関わる場面がある。各関係機関の概要と事例を聞くことで、より具体的なイメージを掴むことが出来た。

実施状況:年6回開催 15事業所・公所のうち、毎回おおむね10事業所の参加

■ R7 年度 活動振り返り(全 6 回)

- 第 1 回:講演会「職場のメンタルヘルス」
- 第 2 回:事業所紹介・見学会調整
- 第 3 回:就労事業所連絡会と合同開催
- 第 4 回:区内児童系事業所の相互見学
- 第 5 回:今年度振り返り・次年度アイデア出し
- 第 6 回:次年度計画確定・フリートーク

● 交流・連携

- 事業所間交流は、全事業所を回れなかったが、交流自体は有意義であった。
- 就労事業所説明会(11事業所参加) → 次回は早めの周知が必要

● 現場の困りごと

学校との連携の難しさ、送迎時の駐車問題、スタッフ確保の課題など、現場ならではの課題が共有されました。

■ R8 年度 年間計画(奇数月第 3 火曜)

- 5月20日 事業所紹介・フリートーク
- 7月16日 木曜日 研修会「からだ・こころ・性との向き合い方」
- 9月:相談支援事業所交流会
- 11月:事例検討会
- 1月:振り返り・次年度アイデア出し
- 2月:次年度計画確定・フリートーク

● 予算・運営

・R8 年 研修会 「からだ・こころ・性との向き合い方」

講師料 50,000円

会場費 11,000円

令和7年度 就労事業所連絡会 事業報告

① 活動内容

時 期	内 容
6月25日	就労選択支援勉強会（北区自立支援連絡協議会との合同開催）
9月29日	児童部会との交流会
11月25日	相談支援部会との交流会
2月下旬	振り返りアンケート実施

② 振り返り

- 就労選択支援が始まることで関心が高くなり、合同開催での勉強会を行う。
今後も機会があれば、勉強会を実施していく。
- 令和7年度は他部会との交流をメインに行う。
児童部会との交流会は親御さんへの周知期間が短く、他にも課題が多く見つかったため、次年度も開催できるよう早めに準備していく。
- 相談支援部会との交流会は事業所見学も兼ね、互いの事業所理解を深める。
相談員の方が知りたい情報と事業所の方が知りたい情報の意見交換も行う。
参加者や内容等を変えて今後も実施できるようにしていく。
- 事例検討会の実施ができれば、次年度以降に計画していく。

令和8年度 精神保健福祉研修会（案）

1. 目的 東区障害者自立支援連絡協議会に所属する構成機関を対象に精神障害にまつわる勉強会を行うことで、疾病や障害について理解を深め、普段の業務で起こりうる困りごとや支援者の悩み等の解消を目指す。
2. 内容 毎年1つずつテーマを決め、講義形式で行う。
数年で主要疾病・障害を一巡する予定。
R8年度は人格障害の理解と対応を検討中。

（参考）

R4年度	発達障害について	講師	りんくす名古屋	松浦泰子氏
R5年度	精神病圏について	講師	愛知淑徳大学福祉貢献学部	瀧誠教授
R6年度	児童精神について	講師	塩釜口こころクリニック	河合佐和院長
R7年度	依存症について	講師	カウンセリングオフィス	ひいりんぐ工房とぼす 臨床心理士 西野敏夫氏 ピアサポーター 名古屋ダルク 丹羽辰介氏

3. その他 研修にかかる費用は保健センター地域密着企画事業からの支出を予定している。

令和8年度 障害を知る DAY について

1 障害を知る DAY について

「見て、知って、体験して」をテーマに、区民に障害についての理解を深めていただくためのイベント。

障害を知る DAY 実行委員会（東区役所、東区自立支援連絡協議会、東区社会福祉協議会）が主催。

2 令和7年度実施状況

令和7年11月30日（日）矢田小学校体育館 来場者数：101名

<内容>

車いすバスケ体験、ボッチャ体験、福祉製品販売
手話体験、点字ブロック体験、知的・発達障害体験

3 課題

- ・「障害を知る DAY」は令和4年度から毎年度開催してきたが、来場者数が100～200名前後で推移しており、来場者数が多くない。
- ・令和7年度は体験に障害者スポーツを取り入れ、開催会場の学区に重点的に働きかけるなど工夫したものの、来場者数は伸びなかった。
- ・「なごやかまつり・ひがし」においても、疑似障害体験や福祉製品販売が実施されており、企画内容が重なっている部分があるほか、開催時期も近いことから、参加団体の負担が大きい。

4 対応

障害理解促進については、関心の薄い層にこそ発信すべきであることから、より多くの来場者が見込める「なごやかまつり・ひがし」に「障害を知る DAY」の趣旨を溶け込ませて一体的に実施し、啓発の取り組みを強化することとした。

5 検討体制

「なごやかまつり・ひがし」のうち、福祉まつりの関係者である東区社会福祉協議会やボランティア連絡協議会（東ほっとネット）等と調整しながら、これまでの取り組みを活かしつつ、企画を調整していく。

